

# 令和3年度 みくま 事業報告書

## 1 総括

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の流行が続いたが、感染防止対策の徹底により、利用者、職員ともに感染者は出ず、1年を通して安定して活動することができた。また、就労支援事業では顧客である法人内事業所の一時閉所などの影響で弁当の販売個数が減少した時期があったが、新規顧客の獲得などもあり黒字収支を維持することができた。しかし、障害者雇用調整金の申請漏れや記録の不備などがあり、令和2年度に引き続き事業管理の杜撰さについて法人から指導を受けることとなった。令和4年度は管理体制を変更して改善を図りたい。

## 2 事業概要

- 1) 施設名 みくま
- 2) 事業種別 就労継続支援A型
- 3) 所在地 東京都小平市大沼町2-1-12
- 4) 経営主体 社会福祉法人 未来
- 5) 利用定員 17名
- 6) 利用現員 18名（令和4年3月31日現在）
- 7) 法人認可年月日 平成14年12月11日
- 8) 事業開始年月日 平成25年 1月 1日
- 9) 職員 8名（令和4年3月31日現在）

管理者	1名	（兼務：常勤換算1.0）
サービス管理責任者	1名	（常勤換算1.0）
職業指導員	2名	（常勤換算1.8）
生活支援員	4名	（常勤換算1.7）

## 3 基本理念

- 1) 一人ひとりの自己実現
- 2) 互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築
- 3) 安心と希望の持てる生活

## 4 基本方針

### 1) 就労支援

「みくま」の従業員として能力が発揮できるように、利用者の作業能力や体調等に合わせた作業配分を行う。また、一般企業で働く為のステップアップとして、就労に向けた相談や就職活動に関して支援する。

### 2) 生活支援

利用者が安心、安定した生活ができるよう支援を行う。一般企業へのステップアップを希望している利用者に対しては、生活面等の課題を把握し就労に向けた生活全般の支援を関係機関と連携しながら行う。

## 5 実施事業（活動内容）

### 1) 就労支援事業

- (1) 弁当製造・販売
- (2) 清掃及び受注事業
- (3) 緑化推進事業

### 2) 行事

- (1) バスハイク（年1回実施）

6 日課

開所・作業	7:30~12:20
昼礼	12:20~12:30
休憩	12:30~13:30
作業・記録等	13:30~17:30

7 重点課題・目標

1. 活動

1) 就労支援事業の充実

① 弁当製造事業安定のため次のことを実施する。

ア・安定収入を確保する

- ・ 弁当配達ルートに沿って、会社等へチラシを配布し新規に顧客を増やす。
- ・ 法人内利用者、関係者、近隣等へ弁当のチラシを継続的に配布する。
- ・ 利用者が徒歩で配達できる顧客を増やす。
- ・ 弁当の委託販売先を増やすための営業活動（電話・チラシ配布）を行う。

	1日平均	
日替弁当売上	年間売上	
令和2年度実績	206個	2,240万円
令和3年度目標	200個	2,240万円
増加分	0個	0万円

【成果と課題】

企業等約170件に弁当のメニュー表を配布し、新規に28件の顧客を獲得した。新型コロナウイルスによる顧客の会社の出勤抑制や法人内通所事業所の一時閉所の影響もあったが、新規顧客の獲得等により1日平均約190個だった注文数が、12月以降1日平均約215個に増加したことにより、販売数、売上ともに目標を達成した。（下記表参照）。

◆弁当売上個数及び売上金額

	1日平均売上個数	売上金額
令和3年度目標	200個	2,240万円
令和3年度実績	200個	2,244万円（目標達成率：100.1%）

イ. 内容充実のための取り組み

- ・ 衛生管理の徹底 — マニュアルを遵守するとともに、異物混入防止を徹底する。
- ・ メニューの多様化 — メインメニューおよび副菜の種類を増加する。
- ・ 弁当内容の充実 — 盛り付け方法および彩りを工夫し、購買意欲を促進する。

【成果と課題】

・ 衛生管理の徹底

6月に1件、毛髪が弁当に混入する事故が発生した。原因が特定できていないが、昨年度8月にも同様の事故を起こしており、時間の経過とともに事故防止への意識が薄れたと考えている。白衣、帽子の着用方法やほこり等チェック方法などを定期的に確認すると同時に、髪の毛の落下を防ぐために、7月に帽子を頭から首回りまで覆う型に変更してからは毛髪の混入に関する事故は起きていない。

・ メニューの多様化

メインメニューを8種類増加した。

・ 弁当内容の充実

カラーカップや彩りの良い食材を活用し盛り付けの工夫を行うことで、彩りに関しては少しずつ改善しているが、まだ色合いが偏ってしまうことがある。また、上半期には丼物のご飯を圧迫しすぎたり、おにぎりを強く握りすぎてしまい、顧客より「ご飯が固い」等の意見があったが、盛り付け方や握り方の改善を図った結果、下半期には同様の意見はなかった。

② 新規作業を実施する。

不定期の作業を含め、作業時間や人員を有効に使える作業を積極的に取り入れる

【成果と課題】

4月から紙パック及び食品トレイの回収作業を開始し順調に実施できた。

③ その他の作業を含め収益増加を目指す。(概算、単位：円)

	令和3年度目標収益	令和2年度実績	差額
弁当製造事業	2,240万	2,238万	2万
清掃作業	449万	477万	△28万
緑化推進事業	130万	130万	0
利用者支援業務	18万	14万	4万
名刺の作成作業	24万	11万	13万
その他受注作業等	7万	7万	0
合計	2,868万	2,877万	△9万

【成果と課題】

就労支援事業全体では、年間収入目標を約40万円上回り、達成率は101.3%となった。弁当配達の新規顧客からの注文数が令和3年12月以降増加し、弁当製造事業収入が目標と比較し約4万円増額となった。また、利用実績が目標を下回ったため利用者工賃等の支出が減少したこともあり、当期資金収支差額は約100万円の黒字となった。

《概算》	目標作業収益(円)	令和3年度実績	差額	達成率
弁当製造事業	2,240万	2,244万	4万	100.1%
清掃作業	449万	489万	40万	108.9%
緑化推進事業	130万	130万	0	100.0%
利用者支援業務	18万	16万	△2万	88.8%
名刺の作成作業	24万	12万	△12万	50.0%
その他作業等	7万	17万	10万	242.8%
計	2,868万	2,908万	40万	101.3%

2) 利用者支援の充実

- ① 個別面談を実施し、現状にあった個別支援計画を作成する。また、利用者の状況や支援経過をケース記録に記載し、評価、見直しを丁寧に行う。
- ② 心情面や作業面等様々な視点をもとに利用者の支援上の留意点を丁寧に作成し、職員間で共有を図るとともに個別支援計画に基づいた一貫した支援を継続的に行う。
- ③ 就労事業における、目標、実践、評価を丁寧に行い、職業指導の向上を図る。
- ④ 一般就労を目指す利用者には、希望する職種や働き方など具体的なイメージが持てるように、就労支援センターと連携し、就職活動の支援を行う。

【成果と課題】

①②③ 利用者全員と個別面談は実施したが、面談内容に沿った個別支援計画が作成されなかった。また、支援上の留意点は具体性に欠け、ケース記録の記載や評価も丁寧に行われなかった。職員間の情報共有も不十分で、チームで利用者支援を行う手法と姿勢に欠けていた。法人からの指摘により、年度後半に情報共有から取り組み始め、毎日職員ミーティングを実施することとした。

令和3年度に受審した福祉サービス第三者評価で「利用者個々への労いや今後の頑張る意欲につながる更なる工夫の検討が期待される」との講評を受け、利用者の長所や頑張りに目を向け、それを本人に伝える風土作りにも取り組んだ。2月から職員ミーティングで個々の利用者の評価できる点を共有し、作業中や昼礼などで本人に伝えることを始めた。

- ④ 対象者3名とも上半期は新型コロナウイルスに対する不安があり、本人と就労支援センターで相談のうえ就職活動は実施しなかった。下半期に1名が企業への就職を希望したため、就労支援センターと連携し2月に就職活動を開始し、清掃や庶務業務担当として3月下旬から企業での実習を開始した。残りの2名は当面みくまで仕事を続けていく予定であり、みくまでの仕事を通じ、

2名とも正確性や速度が徐々に向上した。

## 2. 人材育成

- 1) 管理者候補者を育成する。
- 2) 副施設長の事業管理におけるスキルアップを図る。
- 3) 全職員の業務スキルの向上を図る。
  - ① 事業方針を把握した上、事業計画に従い業務に携わる。
  - ② 個別支援計画に沿った支援を行うとともに利用者の状況や支援経過をケース記録に丁寧に記載する。
  - ③ 利用者の心情理解、リスク管理、支援技術など基本的スキルを向上する。

### 【成果と課題】

- 1) 2) 事業管理が不十分で経営戦略の立案、課題への対応の遅れなど様々な問題が生じ、管理体制の見直しや強化に関して法人より指導を受けた。令和4年度は管理者変更により事業管理の強化を行う予定である。
- 3) 日々の利用者の状況については職員間で共有を図り丁寧な対応ができています。しかし、前述の通り個別支援計画の共有やケース記録及び面談記録等の記載が不十分となり、支援方針の統一が十分に図れなかった。年度後半より、ミーティングを毎日実施し支援計画に沿った支援の共有を図り始めたところである。

## 3. 経営管理

- 1) 利用者の確保を行い経営基盤の安定を図る
  - ① 関係機関訪問及び電話連絡年間計画表をもとに、ワークセンター夢の樹就労移行支援、定着支援、バウムと連携し、近隣の特別支援学校、就労支援センター、ハローワーク、特定相談支援事業所、就労継続支援B型事業所等へ利用者募集を行う。
  - ② 法人機関紙およびホームページへ募集案内を掲載、チラシ配布、ポスター掲示などの広報活動により利用者募集を行う。

《利用者数増加目標数》

	雇用契約者	利用契約者	1日平均利用者数
令和3年3月末	12名	7名	12.9名
令和3年度目標	12名	8名	13.6名
増員目標人数	0名	1名	0.7名

※ 利用契約者増員分は週4日以上利用

### 【成果と課題】

#### 《利用者数実績》

◆目標との比較◆	雇用契約者	利用契約者	1日平均利用者数
令和3年度目標	12名	8名	13.6名
令和3年度実績	12名	6名	13.3名
増減	0名	△2名	△0.3名
◆前年度比◆	雇用契約者	利用契約者	1日平均利用者数
令和2年度実績	11名	6名	12.6名
令和3年度実績	12名	6名	13.3名
増減	1名	0名	0.7名増

(見学者・実習者実績)

紹介先	見学者	実習者	採用
ほっと	4名	1名	0名
ハローワーク	4名	0名	0名
就労継続支援B型事業所	4名	4名	1名 (1名は見学なしで実習を実施)
就労支援センター	10名	4名	0名
相談支援センター	4名	0名	0名
市役所	2名	1名	1名
紹介者無し	1名	1名	1名
病院	2名	0名	0名
	31名	11名	3名

《利用者数増加による訓練等給付費収入及び当期資金収支差額目標額》

	訓練等給付費収入	サービス推進費他	当期資金収支差額
令和3年度目標	2,800万円	535万円	160万円
令和3年度実績	2,492万円	538万円	100万円 (見込み)
増額	△308万円	3万円	△60万円

関係機関及びハローワークへの求人活動、法人機関紙、ホームページへの掲載等により、利用契約者2名、雇用契約者2名が利用を開始した。しかし、下半期に利用契約者2名が退所したことで、令和3年度末の利用者数は18名(雇用契約12名、利用契約6名)となり、一日平均利用者数は13.3名となった。1日平均利用者数の目標は達成できなかったが、黒字収支は維持できた。令和4年度以降は社会保険料等の支出の増加が見込まれるため、安定した経営には雇用契約者13名、利用契約者8名の計21名の利用者数が必要となる見込みである。

2) 会議記録、自動車の整備点検等、事業管理に必要な事項の遂行を徹底するとともに、その経過等を確実に記録に残す(令和2年度の不備の改善)。

【成果と課題】

年度の前半に会議記録が会議後2週間以上経って作成されていることや消防点検の記録が一部不足しているなどの不備があったが、年度後半には改善が図られた。

3) 経営状態を把握し必要な対策を講じる

毎月、月次試算報告を行い、財務状況について職員の理解を深め、経営的視点の共有を図ると共に、年度の収支予測を丁寧に行い、黒字収支に向けた目標を随時確認、または必要に応じて変更する。

【成果と課題】

職員会議で月次試算表をもとに経営分析の結果を報告し経営状態を毎月確認した。しかし、令和3年度の報酬改定に対し、訓練等給付費増額に対応可能な取り組みを行わなかったことや障害者雇用調整金約190万円の申請漏れがあり、事業管理や経営に対する責任感などに大きな課題があった。下半期は令和4年度の訓練等給付費収入増額に向けて、他の就労継続支援A型事業所との交換実習や、外部研修への参加など、給付費のスコアアップのための取り組みを実施し、令和4年度の報酬ランクを1段階上げることができた。

8 その他の成果と課題

1) 8月に新型コロナウイルス、12月にインフルエンザのワクチン集団接種を実施し、感染症予防に努め、新型コロナウイルス及びインフルエンザの罹患者はいなかった。

9 事故報告

1) 弁当製造事業における異物混入事故

6月 顧客に配達した日替わり弁当に、髪の毛が混入する事故が1件発生したが、健康状態に問題はなかった。

## 1 0 開所状況

- 1) 開所期間 自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日
- 2) 開所日数 (1) 週開所日数 5日間  
(2) 開所時間  
令和3年4月1日～令和4年3月31日  
午前7時30分～午後17時30分
- (3) 年間延開所日数 242日間
- (4) 平均活動時間 雇用契約者 5.1時間  
利用契約者 5.5時間

## 1 1 利用状況

- 1) 利用者延人員 3,227名
- 2) 1日平均利用人員 13.3名
- 3) 年間実習人員 11名
- 4) 就労者延人数 0名
- 5) 私事都合退所者延人数 4名

## 1 2 利用者状況 (令和4年3月31日現在)

- 1) 年齢

20歳未満	0名
20歳以上30歳未満	2名
30歳以上40歳未満	4名
40歳以上50歳未満	10名
50歳以上60歳未満	1名
60歳以上70歳未満	1名
- 2) 障害の状況

愛の手帳4度	5名
愛の手帳3度	2名
精神保健福祉手帳3級	5名 (うち1名は身体障害者手帳と重複して所持)
精神保健福祉手帳2級	6名
身体障害者手帳 3級	1名
- 3) 通所手段

交通機関利用	5名	徒歩等利用	13名
--------	----	-------	-----
- 4) 居住状況

管内居住	13名	管外居住	5名
------	-----	------	----
- 5) 性別

男性	9名	女性	9名
----	----	----	----

## 1 3 利用者工賃

- 1) 雇用者－平均工賃

月額：	90,848円
時給：	1,041円 (参考) 東京都最低賃金
- 2) 利用者－平均工賃

月額：	30,316円
時給：	400円

## 1 4 環境の整備

施設内外の美化と利用者身辺の整理整頓につとめ、危険の防止に努めた。

## 1 5 防災

災害時避難訓練を年2回、防災訓練を年1回実施した。